

中 「七夕まつり」が開催されました 心市街地にぎわいづくり

7月5日、上中町地内では、中心市街地にぎわいづくり事業の一環として、「七夕まつり」が開催されました。会場は多くの人で賑わい、暁太鼓の演奏や田島小学校4年生によるよさこい、紅歌舞による演舞のほか、大抽選会などが行われ、会場は大いに盛り上がりました。

また、会場周辺では、田島まちなかエリアプラットフォームによる、まちなか周遊や屋台格納庫開放プログラムづくりを目的とした実証実験として、中町・本町区にご協力をいただき、七夕飾りづくりのワークショップや街灯への七夕飾り付けを行い、賑わいを見せました。



紅歌舞による演舞



七夕飾りづくりワークショップ



太鼓演奏を披露する會津田島太鼓保存会の皆さん



高輪ゲートウェイ駅周辺での練り歩きの様子

高 南会津町観光応援隊「會津田島太鼓保存会」 輪ゲートウェイ駅で太鼓演奏を披露

全国の祭り・伝統が集い、音と熱気に包まれる「MATSURI JAPAN 2025 IN TAKANAWA GATEWAYCITY Produced by HAPPO-EN」が、6月28日から29日の2日間にわたって開催され、南会津町観光応援隊である會津田島太鼓保存会が太鼓演奏を披露しました。

会場では、太鼓演奏のほか、八芳園シェフによる祭りをイメージした郷土料理や地酒などがふるまわれ、南会津町ブースでは日本酒、地ビール、ソースカツ丼などが提供されました。

また、イベントの合間には、高輪ゲートウェイ駅周辺で太鼓を演奏しながら練り歩き、南会津町をPRしていただきました。



ソ ホンダリヴェルタ夏季キャンプin南会津町 フットボール教室も開催

女子ソフトボールにおける最上位リーグである「J Dリーグ」で活躍するホンダリヴェルタの皆さんが、7月14日から25日の12日間にわたり、びわのかげ野球場で夏季キャンプを行いました。

15日に開催された歓迎セレモニーでは、町から南会津産のお米が贈呈されました。

20日には、ソフトボール教室が開催され、地域の子どもたちが参加。トップアスリートからの指導に真剣に取り組み、笑顔が溢れる教室となりました。



歓迎セレモニーでの集合写真



ソフトボール教室の様子



ソフトボール教室での集合写真



連携協定書を手にする渡部町長㊦と
(株)ISホールディングス遠藤代表取締役社長㊧

地 (株)ISホールディングスとの包括連携協定締結 地域の活性化を目指して

7月22日、南会津町と(株)ISホールディングス(東京都)は、双方が有する資源を有効に活用しながら、町の地域活性化や自然資源の保全・活用の推進を図ることを目的として、包括連携協定を締結しました。

今後は、多彩なスキルやノウハウを有する(株)ISホールディングスと町が、互いに連携・協力して、地域経済の活性化や観光誘客の促進等に取り組み、地域の活性化を目指してまいります。

持 橋梁に関する連携協定締結 持続可能なインフラ整備の実現を目指して

6月25日、南会津町と日本大学工学部との「橋梁点検保全業務の効率化及び持続可能なインフラ整備の実現を目指す研究開発」に関する連携協定締結式を行いました。

今回の協定を機に、町内の町道橋を研究のフィールドとして、新技術のロボットやAI、修繕工法などの実証実験を行い、社会インフラの長寿命化に関する技術開発や、小規模自治体向けの橋梁点検・保全・診断方法の確立とその普及・啓発に取り組んでいきます。



連携協定書を手にする渡部町長㊦と
日本大学工学部岩城教授㊧

車 会津鉄道(株)「お座トロ展望列車」試乗会 窓から風を感じて

6月23日と30日に、町内の保育所(園)と幼稚園の年長児を対象に、お座トロ展望列車の試乗会が行われ、会津田島駅～湯野上温泉駅を往復しました。

窓のない臨場感たっぷりのトロッコ席と掘りごたつ風のお座敷席から、太陽や風、自然の香りなど、南会津町と下郷町の大自然をダイレクトに体感することができました。さらに、湯野上温泉駅では足湯や駅周辺の探索などを行い、子どもたちの楽しむ声が響き渡りました。



保全活動に参加した皆さん

ひ アズビルグループが保全活動 めさゆりを後世へ

6月14日と15日の2日間、平成23年から町とひめさゆりの保護協定を締結しているアズビル(株)が、会津高原南郷スキー場において、ひめさゆりの生育数や生長状況を観測するモニタリング調査を実施しました。

調査後にはグループ討議が行われ、今後の保全活動のあり方などについて意見交換をしました。

今回の調査には45名が参加し、そのうち16名が南会津町ふるさとサポーターに登録されています。

貴 荒海中学校の生徒が男杉女杉を見学 重な天然記念物に触れて

6月26日、荒海中学校の1、2年生18人が総合学習の一環として、藤生熊野神社(藤生区)の御神木である男杉女杉を見学しました。

男杉女杉は、ともに樹齢500年以上(推定)、樹高約37m、周囲約7.6mの巨大な天然杉で、福島県緑の文化財・町指定天然記念物となっています。藤生区長の星明則さんが地区で守り続けてきた神社と男杉女杉の歴史について説明しました。

生徒たちは、男杉女杉に触れながら見上げると、その迫力と雄大さに驚きの声を上げていました。また、手をつないで幹を囲むと、男杉は8人、女杉は合体木を含めて11人も必要でした。

この日は、駒止湿原と萩野風穴も見学し、地域に残る貴重な天然記念物に理解を深めました。



星区長から説明を受ける生徒たち



男杉



女杉

長 春の叙勲 瑞宝双光章を受章 年にわたり消防活動に尽力

令和7年春の叙勲において、瑞宝双光章を受章された星慶一さん(高野)の叙勲伝達式が、7月4日に町長室で行われました。

星さんは昭和50年に旧田島町消防団に入団。以来、49年の永きにわたり消防活動に尽力されました。

平成30年4月から団長に就任し、令和6年3月に退団されるまでの6年間、団員の指導や訓練などに熱心に取り組み、団員の技術向上に貢献されました。



左から渡部町長、星さん、和田振興局長

町 幾何学模様のついたてを寄贈 指定文化財の「算額」がご縁となり

6月17日、日本数学協会福島支部の五輪教一さん(二本松市在住)より、図書館へ「幾何学模様のついたて」を寄贈いただきました。

五輪さんは、町の文化財に指定されている「算額」の調査で本町を訪れたことがきっかけで、これまで著書2冊の寄贈や和算をテーマとしたアニメ映画の上映会を実施するなど、数学に親しんでもらう活動を行ってきました。

今回のついたては、五輪さん自らデザインした幾何学模様を、梁取製作所の梁取健さんに依頼して制作したものです。木工の伝統技法である組木細工で作られ、表と裏のデザインが異なります。

図書館にお越しの際は、ぜひご覧になってみてください。



左から梁取さん、五輪さん、廣野図書館長

